

保証規定

キリトリ線

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - 保証書をご提示いただけない場合。
 - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理で依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書

保証書 サンワサプライ株式会社

品番		SW-KVM2DU	
シリアルナンバー			
お客様	お名前		
	〒 ご住所	TEL	
販売店	販売店名・住所・TEL		
	担当者名		
保証期間 12ヶ月		お買い上げ年月日 年 月 日	

※必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

サンワサプライ株式会社

2009.8現在

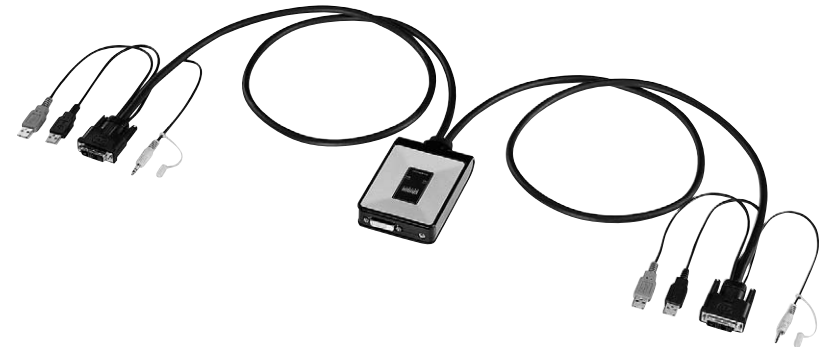
岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
 東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
 札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-811-3450 FAX.011-716-8990
 仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区樽町16-7カジャマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
 福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

09/08/JMDaAt



**フルHD対応DVI
パソコン自動切替器(2:1)
取扱説明書**

SW-KVM2DU



最初にご確認ください。

セット内容

- 切替器本体 1台
- 取扱説明書・保証書(本書) 1部

※万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。本書に記載の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

サンワサプライ株式会社

1. 目次

1	1. 目次
	2. はじめに
	3. 安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)
2	4. 取扱い上のご注意
	5. 特長
3	6. 仕様
4	7. 各部の名称・説明
5	8. 接続方法
6	9. 切替方法・操作方法
7	10. 切替器のカスタマイズ
10	11. トラブルシューティング
	保証規定
	免責
	保証書

2. はじめに

この度はフルHD対応パソコン自動切替器SW-KVM2DU(以後、本製品と表記)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品は、1組のキーボード・マウス・ディスプレイ・スピーカーで2台のパソコンを切替えて使用するための切替器です。本取扱説明書は、本製品を正しくご使用いただくための取扱い方法、使用上の注意等について説明するものです。なお、お読みになった後も本書はお手元に置いてご使用ください。

3. 安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

■警告: 下記の事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

- 分解、改造はしないでください。(火災・感電・故障の恐れがあります)
※保証の対象外となります。
- 水などの液体に濡らさないでください。(火災・感電・故障の恐れがあります)
- 小さなお子様のそばでは、本製品の取外しなどの作業をしないでください。
(飲み込んだりする危険性があります)

■注意: 下記の事項を守らないと事故や他の機器に損害を与えたりすることがあります。

- 取付け・取外しの際は慎重に作業を行ってください。(機器の故障の原因となります)
- 次のような場所では使用しないでください。
 - ① 直射日光の当たる場所
 - ② 湿気や水分のある場所
 - ③ 傾斜のある不安定な場所
 - ④ 静電気の発生する場所
 - ⑤ 通常の生活環境とは大きく異なる場所
- 長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)

■お手入れについて

- ① 清掃するときは電源を必ずお切りください。
- ② 機器は柔らかい布で拭いてください。
- ③ シンナー・ベンジン・ワックス等は使わないでください。

4. 取扱い上のご注意

本製品を使用してパソコンを切替えて使用する際は、万が一に備えてデータのバックアップをこまめにすることをお勧めします。(切替時の不具合によるハングアップ、ケーブル抜け等)

5. 特長

- **WUXGA(1920×1200)、フルHD(1920×1080)対応**
DVI接続でWUXGA(1920×1200)、フルHD(1920×1080)に対応。ワイド画面表示にも対応しています。
- **1組のコンソールで2台のパソコンを切替えて共有**
1組のコンソール(USBキーボード・USBマウス・DVIディスプレイ)で2台のパソコンを操作できます。キーボード・マウス・ディスプレイが1組で済むからデスク周りをすっきり省スペース化できます。
- **HDCP対応**
HDCP(デジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護システム)に対応しているのでKVM経由でもブルーレイディスクや地上デジタル放送の受信・再生が可能です。
- **ディスプレイエミュレーション機能搭載**
ディスプレイのEDIDを読み込みKVMに保存、DDC通信時に各ポートへ応答することで裏起動時に画面解像度が変わったり画面サイズが変わるという問題が発生しません。
- **USB接続タイプ**
キーボード・マウスはUSB接続タイプでマウスは多機能ボタンやチルトホイール機能にも対応しています。
※キーボードに搭載されている特殊ボタンなどドライバを要する機能については本製品経由では使用することができません。
※指紋認証機能付きキーボード、トラックパッド付きキーボードなどでは動作しないことがあります。
※キーボードに搭載されているUSBハブポートは本製品経由では使用することはできません。
- **スピーカーの独立切替に対応**
スピーカーの共有も可能。単独切替にも対応しておりコンソールデバイスとスピーカーは別々に切替ができます。パソコンで作業中に別のパソコンから音楽を流す、作業状況を音声で確認することなどが可能です。
- **ワイヤレスキーボード&マウスセットに対応**
レシーバーをKVMのキーボードポートに接続すれば、使い慣れたワイヤレスデバイスをそのまま2台のパソコンで共有できます。
※Bluetoothキーボード・Bluetoothマウスには非対応です。
- **マウス・キーボードのみの接続可能**
ディスプレイは直接パソコンに接続したまま、キーボード・マウスだけをKVMに接続し、切替共有することができます。
- **ホットキー切替(2通り)、マウス切替の3通りの切替方式に対応**
ホットキー切替は2通りから選択でき、ご使用ソフトでホットキーが重なっても回避することができます。またマウスのスクロールボタンをダブルクリックするだけで瞬時にもう片方のパソコンへ切替わるマウス切替機能にも対応しています。
※マウス切替機能を使用するにはマウスエミュレーション機能をON(有効)にしておく必要があります。
- **キーボードエミュレーション・マウスエミュレーション機能搭載**
キーボードポートをエミュレーションしているため2台のパソコンを同時に起動することができます。また再起動(リブート)時にポートを切替えなくても完全起動が可能です。マウスポートもエミュレーション機能を搭載しているため切替後に素早い操作開始ができます。(マウスポートはエミュレーション機能のON/OFFができます)
- **Windows OS、Linux OS、Mac OSに対応**
片方がWindows、もう片方がMacintoshという環境でも1組のコンソールで共有できます。Windows OSとLinux OSの混在環境でも切替可能です。
※カーネルのバージョン・ディストリビューションの仕様により使用できない場合があります。
- **簡単接続でソフトウェアのインストール不要**

6.仕様

対応パソコン	DOS/Vデスクトップパソコンまたはノートパソコン、Apple Macシリーズ (USB Aコネクタ メス、DVI(24/29pin)ディスプレイコネクタを持つ機種)
対応キーボード	USBキーボード※1・2・3・4
対応マウス	USBマウス※3
対応ディスプレイ	DVI(24/29pin)メスコネクタを持つディスプレイ ※本製品はデジタル信号にのみ対応しております。アナログ信号には対応しておりません。 ※DDC2B対応
対応OS	Windows Vista Windows Server 2003/2008、Windows XP(Home/Professional Edition) Windows 2000(Professional/Server/Advanced Server) Linux(Redhat9.0動作確認)、Mac OS X(10.0以降)、Mac OS 9.0以降
対応解像度	最大解像度1920×1200(@60Hz)(WUXGA)ドットまで対応
インターフェース	<パソコン用> ディスプレイ:DVI(24pin)ディスプレイコネクタオス×2 キーボード:USB Aコネクタオス×2 マウス:USB Aコネクタオス×2 スピーカー:3.5mmステレオミニプラグ×2 <コンソール用> ディスプレイ:DVI(24pin)ディスプレイコネクタメス×1 キーボード:USB Aコネクタメス×1 マウス:USB Aコネクタメス×1 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×1
切替方式	ホットキー切替(パソコンAとBを切替)… [Ctrl][Ctrl][Enter]もしくは[ScrLock][ScrLock][Enter](どちらかを選択) マウス切替…スクロールボタンをダブルクリック オートスキャン切替(自動で交互に切替)… [Ctrl][Ctrl][A/a][Enter]もしくは[ScrLock][ScrLock][A/a][Enter](どちらかを選択)
消費電力	動作電圧:USBポートから電源供給/DC+5V 消費電流:680mA(最大) 消費電力:3.4W(最大)
動作時温度・湿度	0~50℃ 湿度85%以下(結露なきこと)
保存時温度・湿度	-20℃~60℃ 湿度80%以下(結露なきこと)
サイズ	W78×D114×H26.5mm(本体サイズ)
ケーブル長	0.9m(切替器・パソコン間)
重量	470g
付属品	パソコン切替器本体×1、取扱説明書(保証書付き)×1

6.仕様(続き)

- ※1:キーボードに搭載されている特殊ボタンなどドライバを要する機能については本製品経由では使用することができません。
- ※2:指紋認証機能付きキーボード、トラックパッド付きキーボードなどでは動作しないことがあります。
- ※3:Bluetoothキーボード・Bluetoothマウスには非対応です。
- ※4:キーボードに搭載されているUSBハブポートは本製品経由では使用することはできません。

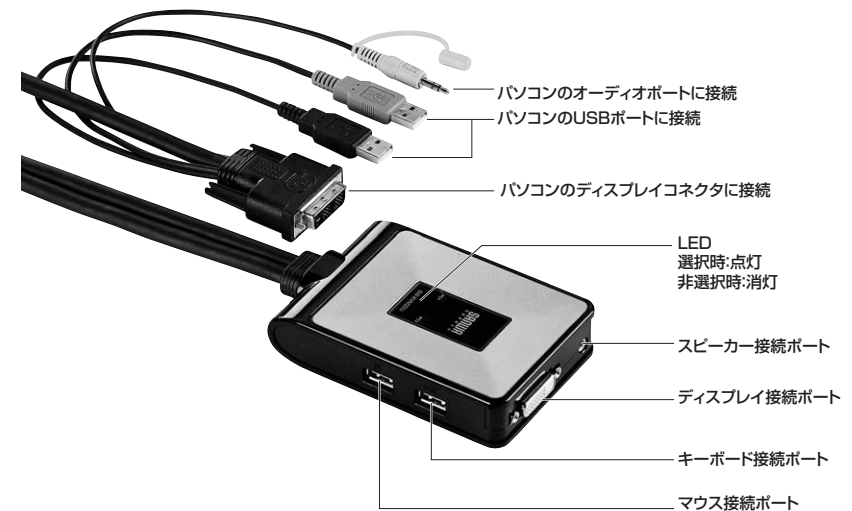
ご注意

- NEC PC98-NXシリーズ・PC-9801シリーズは動作保証外になります。
- 84キーボードやAT規格キーボードには対応しておりません。
- キーボード、マウスにおいてドライバのインストールを要する特殊なボタン、ファンクションキーについては本切替器経由では動作しないことがあります。
- ワンタッチボタンによるレジューム・サスペンド機能は対応しておりません。
- 指紋認証機能付きキーボード、タッチパッド機能付きキーボードには対応しておりません。
- 本製品は国内仕様となっており、海外での動作保証、サポートは行っておりません。
- Microsoft Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

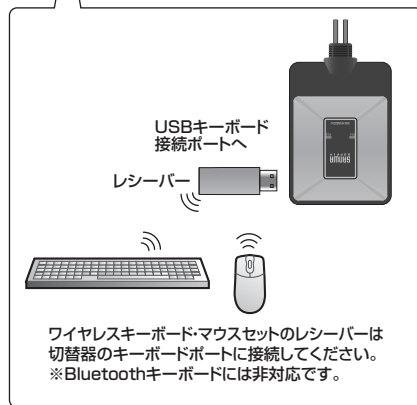
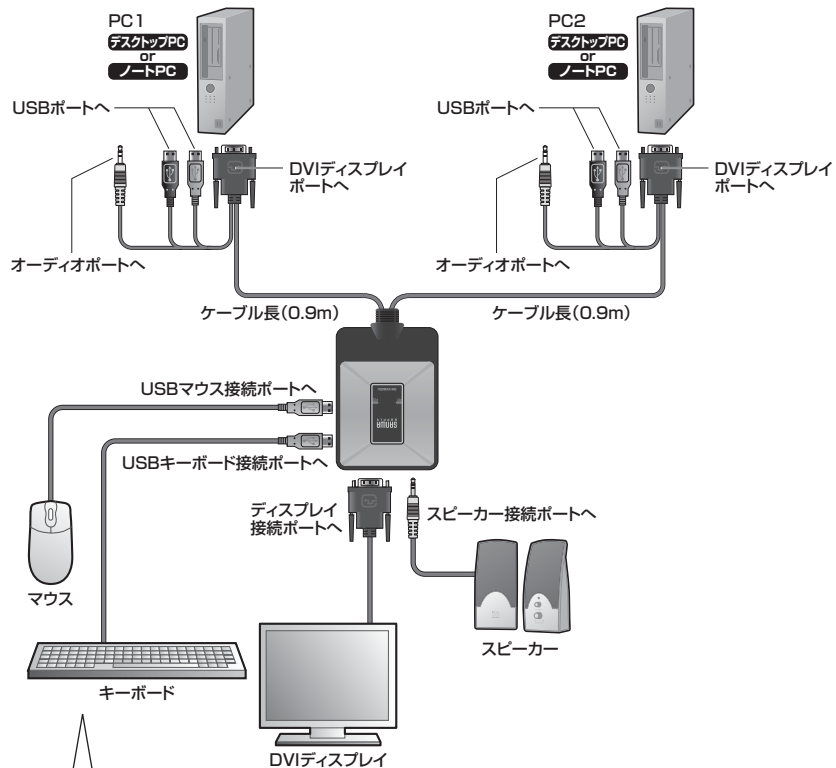
※Bluetooth非対応について

Bluetoothは2.4GHzの周波数帯を使っていますが、Bluetoothの場合はデバイスマネージャー上ではBluetoothスタックと呼ばれるドライバで制御されており、KVMスイッチのエミュレータがこちらに対応していないため、接続しても使用できません。

7.各部の名称・説明



8. 接続方法



※実際の比率とは異なります。

9. 切替方法・操作方法

1. マウスでの切替方法

マウスのスクロールボタンをダブルクリックしてください。
瞬時にパソコン1⇄パソコン2に切替えます。



※マウスのエミュレーション機能が有効の時に可能です。
(初期設定:有効)

マウスエミュレーション機能を無効にするにはP.7「10.切替器のカスタマイズ」の「3.マウスエミュレーション機能」をご覧ください。

2. ホットキー(キーボード)切替

ホットキー切替とはキーボードのキー入力でポートを切替える方法です。
下記のキー入力を順に行ってください。(連続して行ってください)

ホットキー	機能
[Ctrl]→[Ctrl]→[Enter]	KVM(キーボード、マウス、ディスプレイ)、オーディオのすべてをパソコン1⇄パソコン2に切替えます。
[Ctrl]→[Ctrl]→[K/k]→[Enter]	KVM(キーボード、マウス、ディスプレイ)のみを次のポートに切替えます。オーディオ選択は現在のポートのままです。
[Ctrl]→[Ctrl]→[S/s]→[Enter]	オーディオポートのみを次のポートに切替えます。

3. オートスキャン切替

オートスキャン切替は、一定間隔で自動的にポートを切替える方法です。
毎回手動で切替操作することなく、自動的に切替わるので接続されたパソコンの稼働状況などをモニタリングするのに最適です。ホットキー操作については下表をご参照ください。

ホットキー	機能
[Ctrl]→[Ctrl]→[A]→[Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVMコントロールが5秒間隔で切替わります。(初期設定)
[Ctrl]→[Ctrl]→[A]→[Enter]→[1]~[4]	オートスキャン実行中にフルキー側の[1]~[4]を押すことでオートスキャン切替の秒間隔を指定できます。 [1]…3秒間隔 [2]…5秒間隔(初期設定) [3]…10秒間隔 [4]…20秒間隔

※オートスキャン有効時、オートスキャンで使用しない操作以外のキーボード入力は無効になります。
※オートスキャンモードを終了するには、[Esc]または[スペース]キーを押してください。
オートスキャンモードを終了すると、オートスキャンが終了します。

10. 切替器のカスタマイズ

1. ホットキーの変更

ポート切替などに使用する【Ctrl】キーがコンピュータで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合にそなえ、【ScrLock】キーに変更することもできます。設定変更には以下の操作を行ってください。

ホットキー	機能
【Ctrl】→【Ctrl】→【X/x】→【Enter】	【Ctrl】【Ctrl】のキーを【ScrLock】【ScrLock】キーに変更します。 元に戻す場合:【ScrLock】→【ScrLock】→【X/x】→【Enter】 ※ホットキーを【ScrLock】【ScrLock】に変更時には本取扱説明書に掲載する全ての【Ctrl】【Ctrl】キーを【ScrLock】【ScrLock】キーに置き換えてホットキーをご利用ください。

2. ディスプレイエミュレーション機能

本製品はKVMスイッチに接続されたディスプレイのメーカー名やディスプレイに関する情報を読み込み、記憶するディスプレイエミュレーション機能を搭載しています。この機能を利用する場合は以下の手順で操作を行ってください。

ホットキー	機能
【Ctrl】→【Ctrl】→【D/d】→【Enter】	ディスプレイエミュレーション機能を使用し、KVMスイッチ内にディスプレイ情報を記憶します。

3. マウスエミュレーション機能

本製品は初期設定でマウスエミュレーション機能が有効になっています。マウスエミュレーション機能が有効になると切替器のポート切替後、即マウスが反応し操作が可能になります。ただし、特殊なドライバを要するマウスは信号をエミュレーションできないため使用できません。

特殊なドライバを要するマウス(ボタンの割付が可能なマウスやカードリーダー搭載マウスなど)を使用する場合はマウスエミュレーション機能を無効にしてください。USBマウスポートがバイパス状態となり、接続する全てのUSBマウスが使用できるようになります。ただしポートの切替時に毎回接続・認識を行うためマウス動作開始まで数秒間のタイムラグが発生します。

ご使用になられるマウス環境により、マウスエミュレーション機能を有効/無効にしてください。

以下の手順で操作を行ってください。

ホットキー	機能
【Ctrl】→【Ctrl】→【M/m】→【Enter】	マウスエミュレーション機能を有効または無効にします。 (初期設定:有効)

10. 切替器のカスタマイズ(続き)

4. マウス切替機能の有効/無効

本製品はマウスエミュレーション機能が有効の場合、スクロールボタンのダブルクリックでポートを切替えるマウス切替機能を搭載しています。初期設定ではマウス切替機能は有効ですが、設定により無効にすることもできます。

ホットキー	機能
【Ctrl】→【Ctrl】→【W/w】→【Enter】	マウス切替機能を有効または無効にします。 (初期設定:有効)

5. 使用キーボードの設定

本製品はWindows機、Mac機の混在環境でも使用することができWindowsキーボードMacキーボードどちらでもご使用いただけます。ただし、Macキーボードの一部のキー(【Eject】キーや【ボリューム】キー)がWindowsキーボードには設定がないため使用することができません。またWindowsキーボードでMac機を操作する場合にも一部のキーが使用できません。

切替器本体のOS設定をすることでWindowsキーボードでMac機を操作することができるようになります。

※切替器のOS設定をしなくても基本的なキーボード操作は可能です。(文字入力など)

※切替器の初期設定(デフォルト)はWindows用になっています。

※切替器は各ポートごとにOS設定が可能です。(ポート1はWindows、ポート2はMacなど)

※アプリケーションソフトなどをインストールする必要のあるキーボードは一部のキーが反応しないことがあります。

パソコン・キーボード対応表

	Windows機	Mac機
Windowsキーボード	対応	キーボードマッピング(次ページ)参照
Macキーボード	基本入力のみ	対応

※接続するパソコンのOSとKVMのOS設定(ポートごとに)同じにすることで上記対応が可能になります。

OS設定方法

ホットキー	機能
【Ctrl】→【Ctrl】→【F2】→【Enter】	KVMのOS設定をMacにします。WindowsキーボードでMacを操作する場合、この設定にしてください。
【Ctrl】→【Ctrl】→【F10】→【Enter】	KVMのOS設定をWindowsにします。Mac用キーボードでWindowsを操作する場合、この設定にしてください。

※以上の操作で切替器のOS設定は変更されます。これらの操作は一度設定すれば次回起動時からは必要ありません。使用環境が変わった場合は再度変更してください。

10.切替器のカスタマイズ(続き)

キーボードマッピング表

Macキーボード	Windowsキーボード
左[Shift] or 右[Shift]	左[Shift] or 右[Shift]
左[Ctrl] or 右[Ctrl]	左[Ctrl] or 右[Ctrl]
⌘ (Mac command)	⊞ (Windows command)
左[Alt(option)] or 右[Alt(option)]	左[Alt] or 右[Alt]
F13	[Print Screen]
F14	[Scroll lock]
F15	左[Ctrl]、[Win] or 右[Ctrl]、[Win]
=	[Application]
▲ Eject	左[Ctrl]、[4] or 右[Ctrl]、[4]
◀ Mute	左[Ctrl]、[1] or 右[Ctrl]、[1]
🔊 V_DN	左[Ctrl]、[2] or 右[Ctrl]、[2]
🔊 V_UP	左[Ctrl]、[3] or 右[Ctrl]、[3]
Return	[Enter]
Delete	[Back Space]
Help	[Insert]

6.現在の設定情報を確認する

現在の各エミュレーションの有効/無効状況、KVMのOS設定状況などを確認できます。
メモ帳やテキストを開いた状態にしてから下記手順を行ってください。

ホットキー	機能
[Ctrl]→[Ctrl]→[F4]→[Enter]	メモ帳やテキストに現在の各設定状況をリストアップします。

7.USBポートのリセット

USBマウスポートが反応しなくなった場合、USBポートのリセットをすることで再認識させることができます。

ホットキー	機能
[Ctrl]→[Ctrl]→[F5]→[Enter]	USBポートのリセットを行います。

8.全ての設定を初期設定に戻す

USB各エミュレーション設定やOS設定状況を全て工場出荷時の初期設定に戻します。

ホットキー	機能
[Ctrl]→[Ctrl]→[R]→[Enter]	工場出荷時の初期設定にリセットします。

11.トラブルシューティング

Q1) 指紋認証機能付きマウス、多機能ボタンマウスに対応していますか？

A1) マウス接続ポートは初期設定でマウスエミュレーション機能が有効になっています。5ボタンマウスまでは初期設定のままでも使用できますが、特殊なドライバを要するボタンや指紋認証機能付きマウスなどに対応しておりません。マウスエミュレーション機能を無効にすることでマウスポートがバイパスになり、対応することができますが、消費電力の高いデバイスについては動作しないことがありますのでご注意ください。

Q2) ワンタッチボタン機能などを搭載したキーボードでワンタッチボタン機能が使用できない。

A2) ワンタッチボタン機能など、ドライバのインストールを要する機能についてはサポートしておりません。

Q3) ディスプレイの解像度を設定しても切替えると初期値に戻ってしまう。

A3) 本製品はディスプレイエミュレーション機能を搭載しています。ホットキー操作によりディスプレイのEDID(識別情報)をKVM内に記憶させてから再度お試しください。

Q4) キーボードが認識しない。(動作しない。切替操作もできない)

A4) 他のキーボードでも接続をお試しただけの場合はお試しください。また他のパソコンでも試せる場合はお試しください。特定のキーボード・パソコンでのみ発生する症状の場合、製品の相性問題の可能性があります。

Q5) スプリッターケーブルを使用してKVMと接続し使用できますか？

A5) 本製品はスプリッターケーブルを使用した接続には対応しておりません。

免責

- 本製品の使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。
- 本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光のあたる場所、ホコリや湯煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり保管したりしないでください。